



高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 三井田 賢一 幹事 / 水上 勝之 会報委員長 / 竹内 慎昌

2008.4.1

2007-2008 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは分かちあいの心

2007-2008 24号 国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007-2008 クラブテーマ **ロータリーを磨こう、そして一歩向上しよう!**

- 本日の例会 会長の日/ロータリーの友 会員・会員夫人誕生会
- 次回例会予定 8日(火) 新潟南RC・高崎南RC・高崎セントラルRC合同観桜例会
- 3月25日(火)高崎セントラルロータリークラブ例会報告
- 卓話『第25回全国都市緑化ぐんまフェアについて』
全国都市緑化ぐんまフェア高崎実行委員会 事務局長(兼公園緑地課長) 神宮 和夫様



2008年3月29日(土)～6月8日(日)高崎駅西口から城址公園周辺で緑化フェアが開催されます。

- 1.緑の必要性
 - (1)生物生息空間を創出します。〔自然環境保全機能〕
 - (2)環境への負荷を減らし、快適な生活環境を守ります。〔生活環境保全機能〕
 - (3)自然とのふれあいや親しめる場所を提供します。〔レクリエーション機能〕
 - (4)災害時の安全性を高めます。〔防災機能〕
 - (5)歴史や文化を伝え、安らげる景観を形成します。〔景観形成機能〕

- 2.地球温暖化について
 - (1)地球温暖化
 - CO2は、産業革命後の近代産業が発達し始めた200年前から比べると、30%も増えました。
 - (2)京都議定書
 - 京都議定書で定められた温室効果ガス削減目標→6%のうち、その約3分の2に相当する3.8%は森林吸収に割り当てられました。
 - (3)人と緑の循環社会
 - 森林は、私たちに空気や水、木材などの恵みをあたえてくれる。「ライフスタイルを緑のエコライフに」
- 3.地域別に見る緑の現況
 - 高崎、倉渕、箕郷、群馬、新町、榛名の各地区の緑の

- 現況の説明がありました。
- 4.高崎市の緑化推進施策
 - 緑の基本計画で位置づけられた各施策の実施状況について緑の基本計画では、緑の保全、花と緑の創出、水と緑のネットワーク、緑化の普及啓発、緑の主要整備事業の5つの柱によって施策が体系づけられている。
- 5.緑化フェア高崎会場の概要
 - 1.公式行事について
 - 群馬県実行委員会の主催により、高崎会場では次の公式会場が開催されます。

	日時	場所
オープニング セレモニー	3月29日(土) 午前9時～	もてなし広場、 中心市街地
全国都市式典	4月12日(土) 午前10時～10時40分	群馬音楽センター
緑化祭記念植樹	午前11時～11時20分	市庁舎前広場
閉会式	6月8日(日)	群馬音楽センター

- 2.会場整備について
 - 高崎会場はこれまでに開催例の無い「まちなか」を会場とすることから、緑のまちづくりの足掛かりとなるよう、通りや建造物のイメージに合わせ、暮らしに即した装飾や整備を、地域の人々と連携して行います。
 - また、もてなし広場や市庁舎前広場など、県の所管となる城址公園周辺は、いろいろな要素が集約された展示、修景が行われます。



- (1)高崎花路花通り
 - ・高崎駅から中心市街地を通過して高崎城址公園周辺まで“まちなか”を「高崎花路花通り」と名付け、12の通りにそれぞれテーマを設け、各通りが異なるイメージとなるように花や緑で装飾
 - ・高崎駅西口線は、高崎会場のメインストリートとなることから、たくさん花や緑を用いて美しく楽しい街並み空間を創出。フェア終了後は『高崎の感じるまちづくり』をコンセプトに、都会的な景観を形成
- (2)壁面緑化
 - ・“都市緑化”や“新しく緑化技術”が高崎会場のテーマであることから、ヒートアイランド現象の緩和や新しい都市緑化手法として注目されている壁面緑化を群馬シンフォニーホール南面に施工
 - ・音楽センターを囲む西側のシンフォニーロード沿いの

- 壁面に、つるバラとクレマチスの混植による壁面装飾を施工
- (3)城址公園周辺
 - ・もてなし広場には、シンボリックな立体花壇や円形花壇、和風庭園にイングリッシュガーデン、壁面緑化や屋上緑化展示コーナーが出現
 - ・音楽センター東側には、75の小中学校出展花壇と、子ども夢花壇が2ヶ所
 - ・市庁舎前広場は、200名以上の市民・県民参加によるハンギングバスケットとコンテナガーデンの展示と、車椅子でも園芸作業が出来る福祉花壇の設置
 - ・ハローフォーラムには、県内25市町村の出展立体花壇を設置

●『友』インターネット速報 2008年3月25日 NO.328 アフガニスタンの女性に力を与える

ラツィア・ジャン氏は、タリバン政権が崩壊後の2001年に母国アフガニスタンを訪れ、2002年からカブール近郊の児童養護施設と協同で活動を始めました。「少女たちは学校に行ったことがありません。タリバン政権下では、女子教育が禁止されていたため、学校も壊されたのです。しかしそれが変わろうとしています」とアメリカ・マサチューセッツ州ダクスベリーロータリークラブ(RC)会員の彼女は言います。まず、女性の教育と経済力の必要性を感じた彼女は、成人女性のための教育の場としても使える学校を建てることを思いつきました。

4～18歳の約200人の少女を対象とした3年制の学校が開校される予定で、成人教育センターには、20～30人の女性(その多くが子どもを抱える夫を亡くした人たちです)が、商売を始めるノウハウを学びにくるだろうと期待を寄せています。

2回のアフガニスタンの訪問で、ジャン氏は、6～7の村から通える範囲で学校建設にふさわしい安全な土地を見つけました。学校建設には、15万ドル(1,620万円)以上が必要で、これを維持していくにはさらなる費用が必要となります。

ダクスベリーRCの17人の会員は、これまでに10万ドル以上を寄付してきました。「私のクラブはとても協力的です」と彼女は話します。

*訂正 インターネット速報No.327の「1億7,000人以上の子どもを対象に」を「1億7,000万人以上の子どもたちを対象に」に訂正ください。

■論語より■
子曰く、君子の道わたしなる者三つ。我れ能くすること無し。仁者は憂えず。知者は惑わず、勇者は懼れず。子貢曰く、夫子自ら道うなり。



孔子が言われた。君子の道には三つある。仁がある人は心配ない、智のある人は迷わない、勇気ある人は懼れない。わたくしにはどれも十分に実行できないことばかりである。

門弟たちへはいつも「君子の道はこうあるべきものだ」とさしているのだが、それは師の孔子でさえも十分に出来ないものなのだ。君子への道はそれほど難しいものなのだということを、弟子にさとすと同時に、自分への戒めともしているのであった。 ※「声に出して活かした論語70」 三戸岡道夫より抜粋

■4月の例会予定 4月15日(火) クラブ茶道例会 豊田園(田町) 「豊盛軒」に於いて

- 22日(火) 卓話
- 29日(火) 休会 祝日(昭和の日)

ニコニコBOX

三井田 賢一君 神宮さん本日卓話宜しくお願いします。
橋爪 良真君 桜開花直前です。
鈴木 克男君 申し訳ございません。早退します。
一文字 雅晴君 早退します。

出席報告 (3月25日)	会員総数	35
	出席計算会員数	32
	当日出席者	20
	会場出席率(%)	57.14

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70
TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
例会 / 毎週火曜日 18時30分
E-mail:takasaki-cent@rid2840.jp